

令和5年度「獣害につよい集落」等優良活動表彰応募事例紹介ポスター

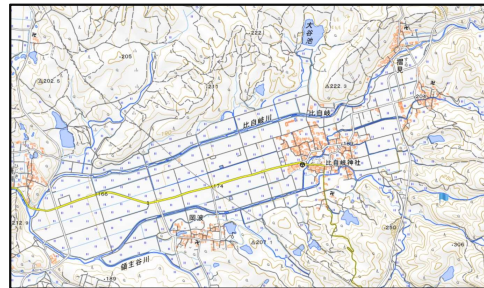
全戸で取り組む獣害対策

～人と自然の調和を図り、山と海の交流を活発に！～

伊賀市 比自岐地区獣害対策協議会

●集落（地区）の概要

- ・所在地：伊賀市比自岐地区
- ・戸数：144戸
- ・農地の状況：水田30ha
- ・主な作物：水稻、小麦、大豆
- ・主な加害鳥獣：ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ



比自岐地区

「出典：国土地理院電子国土Webを加工して作成」

●活動のようす



ICTを活用した大型捕獲檻設置 農業研究所と取り組み、サルの群れ管理に使用



低コスト電気柵設置
(大豆圃場)



一帯を目隠しすることで
イノシシによる柵破壊を防いだ



毎年数回実施している
獣害対策研修会



「山と海との交流」
「ひじき」の加工の様子

●取組内容

- ・柵の維持管理については、3集落それぞれ班体制を組み点検、補修を行っており、全世帯参加の当番制を原則として2～3週間に1回の頻度で点検を行って情報を取りまとめ、補修を行っています。
- ・シカ用の大型捕獲檻を2台設置して地元が当番で草刈りや餌やりなどの管理を行い、捕獲については地区外の狩猟者の協力を得るなど、地域一体となって農作物の被害防止に積極的に取り組んでいます。
- ・平成20年に協議会を設立して以降、継続的に年に数回獣害対策研修会を開催し、家庭内での情報共有もできるような回覧板で広報や情報を回覧する等、集落を自分たちで守る意識を高めるような活動も継続的に行っています。
- ・獣害対策を通じて地域の結束力が高まり、地域活動の発展につながっています。また、「比自岐(ひじき)」の名前と海産物の「ひじき」のつながりをきっかけに、鳥羽の答志島の人たちとの交流が始まり、現在も地域ぐるみの交流が続いています。